

## ご入会のお願い

私ども 一般社団法人 新潟港振興協会は、新潟港並びに周辺地域の振興に関わる官民173社で構成されている団体です。

新潟港開港百年を迎えた昭和42年、当時建設中の新潟東港も含めた新潟東・西両港が特定重要港湾に指定されました。当協会はこれを契機に、東・西両港の施設の拡充・貿易の振興及び定期航路の育成を強力に推進することにより港勢の伸展を期し地域経済圏の発展に寄与することを目的として、昭和43年7月に当時の新潟市長渡辺浩太郎氏により設立されました。

現在、当協会の目的に賛同して下さる新潟県内・外の多岐にわたる業種の皆様より会員としてご入会いただいております。

当協会会長は中原八一 新潟市長。理事には新潟県商工会議所連合会の福田会頭をはじめとする新潟港関係者（港運・建設・荷主事業社）18名からご就任いただいております。

主な事業は以下の通りです。

- ① 新潟港施設の整備促進
  - ・会員の意見集約 → 国・県への要望活動
  
- ② 新潟港の利用促進
  - ・集荷活動（ポートセールス）
  - ・新規航路開設
  - ・既存航路の維持・拡大
  - ・会員会社内の人材育成を目的とした貿易基礎講座・セミナー開催
  - ・外部からの問い合わせ対応（輸入・輸出・航路・港全般に関する質問）
  
- ③ 広報宣伝（いずれも会員へ無償提供）
  - ・会報発行
  - ・パンフレット作成

①②の事業は国・県・市との連携が必要であります。民間である当協会が利用者の立場で常にそこに加わることは大変重要であり、長年にわたる当協会のそうした活動は中央官庁より高く評価を頂いております。当協会は、行政と民間の結節点（パイプ役）としての特性を活かして情報収集・情報提供などを強力に推し進めることを事業の基本としております。

港湾の整備・振興は一日にして成らない性質のものであります。

先人達の地道な努力の積み重ねにより、今、新潟港は本州日本海側最大の港として大きく成長して参りました。そして2019年に新潟港は開港150周年を迎えました。

新潟港が未来に向けて更に発展を続けるためには、新潟港利用者・関係者の皆様から長きにわたりご支援いただくことが必要不可欠となります。

何卒、当協会の目的・事業内容にご理解を頂きご入会をご検討下さいますようお願い申し上げます。

**会費 1口 10,000円（出来れば3口以上のご入会をお願いいたします）**